

# 平成24年度社会福祉法人 茨木市社会福祉協議会事業報告

昨年度は、4月早々に京都で観光客や集団登校の小学生達を巻き込む事故や、夜行バスの激突事故など、我々の心を痛める車の事故が相次いで起こりました。

また、尖閣諸島問題にかかわっての日中間の摩擦、或いは沖縄の軍事基地問題をめぐる日米間の摩擦など、日本と世界各国との間でも多様な問題が浮き彫りとなるなど、緊張した雰囲気的一年ではありましたが、8月のロンドンオリンピックでは各種競技において近年にない好成績をあげ、また、10月には京都大学の山中教授がノーベル賞を受賞するなど、日本にとって明るいニュースも多くありました。

そして年末には、「第2次安倍内閣」が発足し、経済再生、デフレからの脱却、TTP（環太平洋戦略的経済連携協定）、原発・エネルギー政策などという大きな課題にどう立ち向かうのか、その動向が注目されるところです。

そのような中で、東日本大震災から2年が経過し、復興への取り組みが進められておりますが、被災地以外では、原子力災害と、原子力発電所の再稼働に対する関心は高い反面、巨大津波によって壊滅した地域の人々への想いは急速に風化しつつあり、「だいぶ復興も進んできたようだ」という印象が定着している様にも思われます。

今回の大災害が、真の復興を遂げるまでに20～30年かかると言われていますが、単なる「復興」ではなく、新しい文明の有り様を創造するような「新興」を実現することが求められているのではないのでしょうか。

この「新興」ということについては、茨木市社協の地域福祉の推進にも言えるところです。国や自治体の力はもちろん必要ですが、私達一人ひとりが地域の中で出来ることに、いかに取り組むかということが求められているのです。

そういった状況の中で、平成24年度には、市社協と地域住民、そして関係機関が各々の知恵を出し合って地域福祉を推進すべく、地域における行動計画である「地区知恵のわプラン」作りを中心に、地域の福祉活動や事業の見直しと新たな展開を進めてまいりました。

地区福祉委員会活動においては、各地区での「地区知恵のわプラン」作りの推進のため5地区をモデルとし、住民との懇談を重ねて意見交換を行い、地域で抱える課題や各種事業を見つめ直し、地域の実情に応じた計画作りと新たな事業の開発を行い、また社協職員が担当地区を持つことで、モデル地区以外の地区でも、いろいろと意見交換等を行いながら既存事業の更なる充実にも努めました。

ボランティアセンター事業については、事業内容をより明確に知っていただけるように、ボランティアセンターのパンフレットを新に作成し、住民や関係機関に広く周知を進めてまいりました。

また従来からの、ボランティアの需給調整はもちろん、福祉教育についても「人づくり」の一環として、小・中学生などの若い世代を対象に、早くから福祉へ興味をもってもらえるよう、学校と地域との連携を、幅広く行ってまいりました。

共同募金・歳末たすけあい募金事業においては、例年と変わらぬ金額を集めることが出来ましたので、児童養護施設児童への支援や、各地域での歳末見守りといった事業を拡充して行うことが出来ました。

情報発信については、広報紙「福祉茨木」の見やすい紙面づくりやページ数の増を行うとともに、ホームページについても、読みやすく見やすい画面作りを進め、より多くのそして時宜にかなった情報をみなさんにお届け出来るように努めてまいりました。

その他、介護保険事業をはじめ、在宅福祉における各種事業を進めるとともに、住民の皆さんと協同しつつ、様々な分野での取り組みに力を傾けてまいりました。

以上のほか、従来から継続して行っている事業に関する実績は以下のようになっております。

# 1 組織規模・構成について

## (1) 役員

①理事 15名

②監事 2名

(2) 評議員 40名

(3) 地区福祉委員会 33地区

(4) 組織構成会員 85団体

(5) 事務局 (平成25年3月末現在)

①事務局長	1名	⑤職員	7名
②課長	2名	⑥任期付職員等	16名
③係長	1名	⑦ホームヘルパー	20名
④センター長	1名	⑧ガイドヘルパー	33名

## (6) 賛助会員数等

(表1：前年比較)

区 分		平成24年度 (25.3.末)①	平成23年度 (24.3.末)②	対前年度伸率 ①/②
人 口		276,662人	275,995人	100.24%
世 帯 数		118,796世帯	118,500世帯	100.24%
賛 助 会 員 数	個 人	31,764件	30,919件	102.73%
	特別・法人	455件	430件	105.56%
賛 助 会 費 額	個 人	19,124,000円	18,955,500円	105.81%
	特別・法人	1,650,000円	2,391,000円	69.00%
	計	20,774,000円	21,346,500円	97.31%
加入率 (個人賛助会員数/世帯)		26.74%	26.09%	

(表2：賛助会員地区別状況)

No.	地区名	個人会員		特別会員		法人会員		合 計	
		会員数	金 額	会員数	金 額	会員数	金 額	会員数	金 額
1	中 条	1,052	630,000	8	37,000	1	5,000	1,061	672,000
2	春 日	1,194	726,500	13	25,000	23	140,000	1,230	891,500
3	玉 櫛	1,062	616,500	4	24,000	3	20,000	1,069	660,500
4	豊 川	428	351,500	25	58,000	5	35,000	458	444,500
5	見 山	286	288,000	25	34,000	7	35,000	318	357,000
6	玉 島	711	472,000	0	0	2	10,000	713	482,000
7	三 島	1,436	772,000	9	20,000	12	70,000	1,457	862,000
8	東	1,013	639,500	0	0	0	0	1,013	639,500
9	春日丘	771	449,000	2	4,000	1	5,000	774	458,000
10	茨 木	2,000	1,107,500	5	5,000	4	35,000	2,009	1,147,500
11	石 河	225	220,000	1	1,000	3	15,000	229	236,000
12	太 田	1,198	693,500	3	9,000	14	90,000	1,215	792,500
13	清 溪	261	300,000	1	3,000	19	145,000	281	448,000
14	安 威	839	742,000	0	0	0	0	839	742,000
15	福 井	794	570,000	4	45,000	11	75,000	809	690,000
16	中 津	910	651,000	9	35,000	2	10,000	921	696,000
17	大 池	1,974	1,091,000	0	0	0	0	1,974	1,091,000
18	郡	918	494,500	4	13,000	4	25,000	926	532,500
19	天 王	1,149	668,500	2	6,000	1	5,000	1,152	679,500
20	沢池	1,065	717,500	2	5,000	1	5,000	1,068	727,500
21	新郡山	1,017	559,000	4	28,000	4	35,000	1,025	622,000
22	水 尾	1,023	571,500	3	12,000	0	0	1,026	583,500
23	葦 原	803	447,000	4	4,000	2	15,000	809	466,000
24	庄 栄	820	480,000	6	6,000	10	55,000	836	541,000
25	畑 田	261	175,000	23	37,000	1	5,000	285	217,000
26	耳 原	962	562,500	22	40,000	6	55,000	990	657,500
27	山手台	1,150	675,500	3	3,000	1	5,000	1,154	683,500
28	白 川	989	559,000	2	2,000	2	10,000	993	571,000
29	東奈良	921	569,000	24	89,000	2	15,000	947	673,000
30	穂 積	1,656	664,000	71	73,000	5	35,000	1,732	772,000
31	西河原	1,306	678,000	14	14,000	7	35,000	1,327	727,000
32	西	1,296	793,000	6	8,000	2	15,000	1,304	816,000
33	彩都西	273	189,000	1	5,000	0	0	274	194,000
-	事務局	1	1,000	0	0	0	0	1	1,000
合	計	31,764	19,124,000	300	645,000	155	1,005,000	32,219	20,774,000

## 2 会議関係について

### (1) 理事会 3回

年月日	場 所	主 な 案 件	出席者数
24. 5. 17	社会福祉協議会 会議室	1) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会評議員委嘱につき同意を求める ことについて 2) 平成 23 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業報告について 3) 平成 23 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会一般会計決算認定 について	14名
24. 7. 19	社会福祉協議会 会議室	1) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会評議員委嘱につき同意を求める ことについて 2) 平成 24 年度敬老会について 3) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会善意銀行の払出しについて 4) 平成 24 年度役員・地区福祉委員長管外視察研修について	15名
25. 3. 14	社会福祉協議会 会議室	1) 平成 24 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会一般会計補正予算 (第 1 号) について 2) 平成 25 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業計画について 3) 平成 25 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会一般会計予算につ いて	13名

### (2) 評議員会 2回

年月日	場 所	主 な 議 案	出席者数
24. 5. 28	社会福祉協議会 会議室	1) 平成 23 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業報告及び 一般会計決算承認について	出席 25名 委任 10名
25. 3. 25	社会福祉協議会 会議室	1) 平成 24 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会一般会計補正 予算 (第 1 号) について 2) 平成 25 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業計画に ついて 3) 平成 25 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会一般会計予算に ついて	出席 25名 委任 3名

(3) 地区福祉委員長会 4回

年月	場 所	主 な 協 議 連 絡 事 項	出席者数
24. 5. 21	社会福祉協議会 会議室	1) 平成 24 年度運営費第 1 期分の交付について 2) 平成 23 年度給食サービス事業費（精算払）及び 小地域ネットワーク活動推進事業費の交付について 3) 平成 24 年度敬老会開催事業について 4) ボランティアセンター事業説明	31名
24. 7. 25	社会福祉協議会 会議室	1) 平成 24 年度敬老会開催事業について 2) 各種補助金の交付について ・平成 24 年度敬老会開催事業費 ・平成 24 年度運営費第 2 期分 ・小地域ネットワーク活動事業費（平成 24 年度実績） ・一般事業費（平成 23 年度実績）	33名
24. 12. 7	社会福祉協議会 会議室	1) 平成 24 年度給食サービス事業費上半期分の交付について 2) 平成 24 年度運営費第 3 期分等の交付について 3) 平成 24 年度小地域ネットワーク活動補助金の交付について	29名
25. 1. 25	社会福祉協議会 会議室	1) 各種補助金の交付について 2) 平成 25 年度賛助会員の募集について	30名

(4) 管外研修会

年月日	場 所	研 修 内 容	出席者数
24. 10. 17	兵庫県川西市 社会福祉協議会	川西市社会福祉協議会との交流学习 ・地域福祉推進計画、地区福祉計画について ・小地域福祉活動について ・その他	役員 8名 地区福祉委員長 19名 事務局職員 3名

(5) 地区福祉委員会担当者別研修会

年月日	場 所	研 修 内 容	出席者数
25. 1. 25	社会福祉協議会 会議室	会計 ・補助金の変更点について ・申請方法等の手続きについて	46名
25. 3. 15	社会福祉協議会 会議室	子育て支援事業 ・メニューについて ・グループワーク（情報交換）	38名

### 3 地区福祉委員会活動について

#### (1) 主な活動

1 賛助会員の募集活動
2 共同募金、歳末たすけあい運動への協力
3 講演会、講習会、研修会の開催
4 敬老会の開催
5 小地域ネットワーク活動の推進  (1) 地域ボランティア講座の開催とボランティアグループづくり  (2) ひとり暮らし高齢者や寝たきり高齢者への友愛訪問活動事業  (3) ひとり暮らし老人の会の育成・支援活動と給食サービス事業の実施  (4) ひとり暮らし高齢者・虚弱高齢者・障がいを持つ方を対象にミニデイサービス事業の実施  (5) 地区住民対象のふれあいサロン活動事業の実施  (6) 高齢者や身体の不自由な人を対象に健康体操教室・リハビリ教室の開催  (7) 世代間交流事業の実施
6 子育て支援事業の実施
7 福祉体験教育事業の実施・協力
8 歳末たすけあい事業の実施
9 各種交流会、研修会の開催
10 広報紙「地区福祉委員会だより」等の発行
11 献血運動の推進
12 文化祭（展）への参加
13 ふるさと祭（盆おどり、夏まつり）への協力
14 地区体育祭への協力
15 子ども会等スポーツ・レクリエーション活動への協力
16 青少年健全育成運動への協力
17 福祉施設訪問
18 福祉バザーの開催
19 あいさつ運動の推進
20 環境美化活動の推進（児童遊園、公園、道路清掃等）
21 交通安全運動の推進、迷惑駐車夜間パトロール
22 その他、地域福祉推進に関する活動

(2) 敬老会地区別実施状況

番号	地区名	開催日	対象年齢	招待者数	出席者数	出席率
1	中条	9月8日	70歳～	1,445	204	14%
2	春日	9月30日	70歳～	1,528	台風で中止	記念品の配布
3	玉櫛	9月30日	70歳～	1,400	台風で中止	別イベントの開催
4	豊川	10月8日	70歳～	889	230	26%
5	見山	9月17日	70歳～	290	95	33%
6	玉島	9月9日	70歳～	903	255	28%
7	三島	10月21日	70歳～	1,633	682	42%
8	東	9月16日	70歳～	1,346	610	45%
9	春日丘	9月16日	70歳～	1,121	257	23%
10	茨木	9月17日	70歳～	2,138	1,410	66%
11	石河	9月9日	70歳～	180	57	32%
12	太田	9月9日	70歳～	1,560	457	29%
13	清溪	10月21日	70歳～	336	130	39%
14	安威	9月16日	70歳～	654	263	40%
15	福井	9月15日	70歳～	1,011	425	42%
16	中津	9月17日	70歳～	1,560	376	24%
17	大池	10月27日	70歳～	2,387	367	15%
18	郡	10月21日	70歳～	816	255	31%
19	天王	9月17日	70歳～	1,504	339	23%
20	沢池	9月30日	70歳～	1,406	台風で中止	記念品の配布
21	新郡山	9月17日	70歳～	1,027	315	31%
22	水尾	10月14日	71歳～	1,633	314	19%
23	葦原	9月16日	70歳～	884	360	41%
24	庄栄	9月17日	70歳～	1,124	443	39%
25	畑田	9月17日	70歳～	614	374	61%
26	耳原	9月17日	70歳～	1,110	345	31%
27	山手台	9月22日	70歳～	1,249	269	22%
28	白川	9月23日	70歳～	1,488	326	22%
29	東奈良	9月16日	70歳～	1,629	549	34%
30	穂積	9月17日	70歳～	1,224	261	21%
31	西河原	9月22日	70歳～	862	217	25%
32	西	9月30日	70歳～	1,128	台風で中止	記念品の配布
33	彩都西	9月23日	70歳～	278	107	38%
合計				38,357	10,292	27%



(3) ひとり暮らし高齢者給食サービス事業実施状況

番号	地区名	実施団体	実施場所	実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数
1	中条	ことぶき会	中条公民館	11	85	91
2	春日	一楽会	春日公民館	10	218	133
3	玉櫛	八八会	玉櫛公民館・玉櫛小学校	9	235	151
4	三島	やよい会	総持寺いのち・愛・夢センター	10	181	29
5	東	ひとり暮らし老人会	東コミュニティセンター	5	165	124
6	春日丘	春日丘長寿会	春日丘公民館	11	384	279
7	茨木	長寿会	茨木公民館	10	314	127
8	福井	きずな会	福井公民館	10	321	85
9	中津	むつみ会	大池公民館	10	137	104
10	大池	なかよし会	大池公民館	10	148	90
11	郡	いきいきクラブ	郡コミュニティセンター	11	364	433
12	天王	励老会(配食)	天王公民館	8	554	172
13	沢池	沢池地区	沢池公民館	5	182	84
14	新郡山	ふれあい会	郡山公民館	5	244	181
15	水尾	水尾喜楽会	水尾コミュニティセンター	8	534	127
16	葦原	味の会(配食)	玉櫛公民館	9	303	132
17	耳原	耳原地区	耳原公民館	2	91	32
18	山手台	いちご会	山手台公民館	9	178	79
19	東奈良	楽寿会	東奈良公民館	10	350	179
20	穂積	穂積長寿会	穂積コミュニティセンター	11	361	154
21	西	西地区	西公民館	6	170	114
計				180	5,519	2,900

#### (4) いきいきサロン事業

番号	地区名	場 所	実施回数	参加者 延人数	ボランティア 延人数	内 容
1	春 日	春日公民館 春日文化会館	1 2	2 5 3	8 0	文化展出品作品作成 手作り作業 演芸鑑賞
2	玉 櫛	玉櫛公民館	2 5	4 1 7	3 6 5	健康体操、手芸
3	見 山	車作青年会館	1 9	1 8 0	1 7 0	カラオケ基本 2 回/月実施
4	玉 島	玉島公民館	1 0	2 2 9	1 4 1	歌体操
5	三 島	三島コミュニティセンター	2 8	4 5 4	1 3 7	歌体操等
6	東	東コミュニティセンター	6	2 1 7	9 4	歌、指体操、ゲーム等
7	茨 木	茨木公民館	1 0	3 1 4	1 2 7	手芸
8	石 河	桑原自治会館他	6	1 3 6	6	ミニコンサート、茶話会
9	太 田	藍野大学 太田小	4	6 5	5	藍野大学 3 回 太田 1 回
1 0	清 溪	泉原老人集会所	1	3 0	5	カラオケの集い
1 1	安 威	安威公民館	1 0	1 2 8	7 0	手芸、健康相談
1 2	福 井	福井公民館	1 4	3 1 8	9 4	会食後ミニサロン5回実施 手芸、歌、ハーモニカ体操
1 3	大 池	大池公民館	1 1	1 9 9	7 4	大池地区住民つどいの場 こども～高齢者
1 4	天 王	駅前ハイタウン集会所等	3	5 7	1 7	健康指導
1 5	新郡山	郡山自治会館	1 0	3 7 7	1 4 4	おしゃべりサロン 血圧測定、健康相談等
1 6	庄 栄	庄栄コミュニティセンター	3	7 6	3 0	手芸
1 7	畑 田	畑田コミュニティセンター	1	2 8	7	ハーモニカ演奏
1 8	耳 原	耳原公民館	1 2	1 0 2	2 2	健康体操、カラオケ
		耳原公民館	2 6	2 9 5	1 0	カラオケ、折り紙
1 9	山手台	山手台公民館	1 1	1 2 3	5 6	ダンベル体操等
2 0	白 川	白川小学校	9	1 8 5	1 5 6	健康講話、製作、歌、等
2 1	西河原	サニー集会所 ローレル集会所 西太田自治会館	3 9	1, 0 7 3	4 3 9	各種楽器演奏、コーラス マジック、クイズ、ビンゴ ゲーム、手芸、七夕飾り他
2 2	西	西公民館	1	2 6	1 0	カラオケ教室
2 3	彩都西	彩都西コミュニティセンター	5	1 0 9	8 1	高齢者対象に 5 回開催
計			2 7 2	5, 3 9 1	2, 3 4 0	

(5) 地域健康づくり事業

番号	地区名	場所	実施回数	参加者延人数	ボランティア延人数	内容
1	玉 櫛	玉櫛公民館	1 1	2 1 4	1 7 6	ミニデイサービス
2	豊 川	豊川小運動場	1 1	5 4 6	3 5	グランドゴルフ
3	見 山	竜王山荘グラウンド 車作自治会館	1 3	2 8 0	7 2	歌体操 1 1 回 グランドゴルフ 2 回
4	三 島	彩都・竜王山荘	1	4 0	8	赤十字血液センター見学会食
5	石 河	将軍山古墳他	2	6 8	6	ウォーキング 元気体操
6	清 溪	千提寺集落センター	1	2 4	7	健康推進の為・認知防止の 為 歌体操他
7	福 井	福井小運動場他	1 0	2 2 6	4 6	グランドゴルフ・体操卓球 等
8	中 津	中津コミュニティセンター	1 0	8 5	5 1	歌体操 健康講和 ゲーム
9	大 池	舟木公園 他練習	1 0 5	3 4 4	9 6	高齢者グランドゴルフ
		大池公民館	1 1	1 3 9	9 6	歌と指運動・軽い体操
1 0	郡	郡コミュニティセンター	8	1 2 1	2 0	楽しい脳若返り教室
1 1	新郡山	郡山公民館	1	4 8	3 7	歌体操
1 2	水 尾	水尾コミュニティセンター	6	1 5 6	6 4	認知症予防脳若返り教室
1 3	庄 栄	庄栄コミュニティセンター	4	1 3 3	4 4	体操
1 4	畑 田	畑田コミュニティセンター	1	2 7	8	健康講座、健康体操
1 5	耳 原	耳原公民館	2 2	3 5 7	8	体操、カラオケ
1 6	山手台	山手台公民館	1 0	2 7 6	1 2 1	絆の場
1 7	白 川	白川公民館	1 0	1 7 7	1 5 0	Café しらかわ
1 8	穂 積	穂積コミュニティセンター	1 1	4 0 0	4 4	健康歌体操
1 9	西河原	サニー集会所 ローレル集会所 西太田自治会館	1 0	3 4 5	1 3 3	健康体操、転倒予防、口腔 衛生、腰痛、ストレス、栄 養、介護保険について
計			2 5 8	4, 0 0 6	1, 2 2 2	

## (6) 世代間交流事業

番号	地区名	場所	実施回数	参加者 延人数	内 容
1	中 条	中条公民館	1	3, 789	文化祭を通じ、福祉委員会の活動を理解して頂く
2	春 日	春日小グランド	11	3, 231	春日小1年～6年の児童と交流 春日地区住民との交流
3	玉 櫛	桜通り公園	1	50	懇談会
4	豊 川	豊川小学校	1	52	グランドゴルフ
5	見 山	忍頂寺小学校	3	233	グランドゴルフ、餅つき大会、耐寒ハイキング
6	玉 島	玉島公民館	2	122	玉島幼稚園児との交流
7	三 島	三島小学校	5	1, 750	体育祭、文化展、もちつき他
8	春日丘	春日丘小学校	8	749	昔遊び他
9	茨 木	茨木小学校	1	550	餅つき、手作りおもちゃ作成
10	石 河	一乗谷朝倉氏遺跡	2	78	一乗谷朝倉氏遺跡見学
11	太 田	太田小学校	1	1, 300	太田地区全住民
12	清 溪	清溪小学校	6	130	田植え等
13	安 威	安威小学校	1	171	しめ縄作り、グランドゴルフ
14	福 井	福井小学校 支援学校	7	439	地区夏祭り模擬店、イモ掘り、餅つき等
15	中 津	中津コミュニティセンター	1	25	各々の生活様子を話し合う
16	大 池	自治会	5	467	各自治会で餅つき等
17	郡	郡コミセン・小学校	1	160	落語
18	天 王	天王小学校	1	138	昔遊び
19	沢 池	沢池小学校	4	1, 021	昔遊び他
20	新郡山	地域内	1	135	親子3世代交流として芋掘り
21	水 尾	水尾小学校	3	439	水尾幼稚園児、水尾小学生との交流
22	庄 栄	庄栄小学校 他	7	300	ふるさと祭り、餅つき大会
23	畑 田	畑田小学校	2	138	昔遊び、グランドゴルフ（公民館共催）
24	耳 原	耳原小学校	1	350	とんど
25	山手台	山手台小学校	1	85	グランドゴルフ
26	白 川	白川小学校	1	600	もちつき大会
27	東奈良	東奈良小学校	1	50	小学生～高齢者の競技
28	穂 積	穂積小学校	2	180	ふれあい交流会、チューリップ交流会
29	西河原	西河原小学校	5	619	文化祭、昔の遊び、昔の暮らし聞き取り、 西河原フェスタ、昔の暮らし体験
30	西	西小学校・公民館	2	143	グランドゴルフ大会 もちつき
31	彩都西	彩都近郊	2	60	里山観察会、さつま芋掘り、夏祭り
計			90	17,554	

## (7) 子育て支援事業

番号	地区名	場 所	実施回数	参加者 延人数	ボランティア 延人数	内 容
1	春 日	春日公民館	6	198	66	子育て相談、親同士の交流
2	玉 櫛	玉櫛公民館	8	258	73	自由遊び交流会
3	見 山	忍頂寺小学校	7	193	107	クリスマス会、餅つき、まつり
4	三 島	三島コミュニティセンター	2	33	20	保健師さんの話、手遊び
5	東	東コミュニティセンター	9	645	121	保育遊び
6	太 田	太田公民館	4	83	96	藍野大学 32 名（手伝い）
7	清 溪	清溪公民館	1	23	8	子育て食育について
8	福 井	福井小学校	15	516	169	クリスマス会、七夕、水遊び
9	中 津	中津コミュニティセンター	4	120	37	モチャ遊び、親子体操、ペーパーアート
10	大 池	東幼稚園	10	199	66	就園前幼児とのふれあい
11	郡	郡コミュニティセンター	10	295	93	絵本読みきかせ他
12	天 王	天王公民館	3	292	55	親子サロン
13	沢 池	春日丘八幡宮集会所	6	339	57	0～3 歳児親子ふれあい他
14	新郡山	郡山自治会館	10	347	100	育児相談、乳幼児オイルマッサージ
15	水 尾	水尾コミュニティセンター	3	233	54	子育てフェア
16	葦 原	葦原コミュニティセンター	6	372	77	人形劇、ダンス等
17	耳 原	耳原公民館	12	524	87	英語で遊ぼう、おもちゃ作り
18	山手台	山手台小学校	12	592	165	子育て相談、歌、体操等
19	東奈良	東奈良公民館	1	134	14	出張保育士によるクリスマス会
20	穂 積	ちゃちゃはうす	36	360	84	お話、手遊び、歌遊び、お出かけ
21	西河原	西河原コミュニティセンター	2	119	30	幼児身体測定、健康相談、親子遊び
22	西	西公民館	6	263	39	0～3 歳児親子ふれあい遊び
23	彩都西	彩都西コミュニティセンター	6	259	61	幼稚園入園前の親子対象
計			179	6,397	1,679	

## (8) 福祉体験事業（地区福祉委員会開催）

番号	地 区 名	対 象 者	研 修 内 容
1	玉島地区福祉委員会	玉島小学校 3年生	車イス、アイマスク体験
2	太田地区福祉委員会	太田中学校全校生徒	福祉講演 1 回、福祉体験 1 回
3	清溪地区福祉委員会	清溪小児童・福祉委員	車椅子の体験
4	福井地区福祉委員会	福井小学校 3・4年生	支援学校・福井小学校 福祉体験
5	大池地区福祉委員会	大池小学校 3年生 3クラス	大池小学校 3年生昔の暮らしの様子

(9) 歳末たすけあい事業

番号	地区名	内 容
1	中 条	独居高齢者見守り訪問粗品配付
2	春 日	独居高齢者見守り訪問粗品配付
3	見 山	80歳以上の長寿祝い(歳末訪問)
4	玉 島	クリスマス会 他
5	三 島	高齢者サロン4回(新年会)
6	東	高齢者友愛訪問
7	春日丘	高齢者安否確認、黒豆配付
8	太 田	餅つき、バザー、太鼓演奏
9	清溪	餅つき、バザー、太鼓演奏
10	安 威	高齢者友愛訪問
11	中 津	クリスマス会

番号	地区名	内 容
12	郡	歳末見舞訪問
13	天 王	高齢者友愛訪問
14	新郡山	クリスマス会
15	水 尾	高齢者友愛訪問
16	葦 原	高齢者友愛訪問、クリスマス会
17	庄 栄	75歳以上夫婦、寝たきり高齢者への見舞い
18	耳 原	高齢者友愛訪問、クリスマス会
19	東奈良	クリスマス会
20	穂 積	高齢者友愛訪問、
21	西河原	高齢者友愛訪問、クリスマス会

(10) 広報紙発行事業

番号	地区名	発行回数
1	中 条	1
2	春 日	2
3	玉 櫛	2
4	豊 川	1
5	見 山	2
6	玉 島	1
7	三 島	3
8	東	2

番号	地区名	発行回数
9	春日丘	1
10	茨 木	2
11	石 河	1
12	太 田	2
13	清 溪	1
14	安 威	14
15	中 津	2
16	大 池	2

番号	地区名	発行回数
17	郡	2
18	天 王	2
19	沢 池	4
20	新郡山	1
21	水 尾	2
22	葦 原	1
23	庄 栄	1
24	畑 田	1

番号	地区名	発行回数
25	耳 原	2
26	山手台	14
27	白 川	5
28	東奈良	1
29	穂 積	1
30	西河原	4
31	西	8
32	彩都西	2

(11) 小地域ネットワーク活動推進事業関係研修会

年 月 日	場 所	研 修 内 容	出席者数
25. 1. 29	大阪国際交流センター	小地域ネットワーク活動リーダー研修会	31名

(12) 大池地区 いきいき友の会(脳卒中後遺症障害高齢者組織) 支援

開 催 日	場 所	回 数	対 応
毎月第2木曜日	大池公民館	15回(10, 12、2月のみ2回開催)	職員及び看護師の派遣
内 容	合唱、体操、レクリエーション等	参 加 者	対象者：138名、ボランティア：175名

### (13) 健康福祉セーフティネットワーク事業

実施地区数：25地区

#### 各地区セーフティネットワーク会議への出席状況

番号	地区名	開催回数
1	中条	6
2	春日	6
3	玉櫛	5
4	見山	3
5	玉島	5
6	三島	11
7	東	11
8	春日丘	9
9	茨木	6
10	太田	1

番号	地区名	開催回数
11	清溪	1
12	福井	6
13	中津	6
14	郡	5
15	沢池	5
16	新郡山	4
17	水尾	5
18	葦原	5
19	庄栄	9
20	山手台	4

番号	地区名	開催回数
21	白川	11
22	東奈良	5
23	穂積	10
24	西河原	6
25	西	6
合計		151

※ 24年度も、社協職員が個々の地区を担当することとし、役員会や各種事業にも積極的に参加し、地域に寄り添った支援を行いました。

今後とも、それぞれの地区福祉委員会の実情に合った事業展開に向けた支援に努めます。

#### 4 児童養護施設支援活動事業について

年 月 日	場 所	活動内容および参加者数								
24. 8. 10 ～8. 11	茨木市青少年 野外活動センター	児童養護施設キャンプ事業 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">子 供 の 家</td> <td style="text-align: right;">23名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">希 望 館</td> <td style="text-align: right;">42名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">レバノンホーム</td> <td style="text-align: right;">15名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">80名</td> </tr> </table>	子 供 の 家	23名	希 望 館	42名	レバノンホーム	15名	計	80名
子 供 の 家	23名									
希 望 館	42名									
レバノンホーム	15名									
計	80名									
24. 8. 21 24. 8. 24	西河原市民プール	児童養護施設中高生プール招待事業 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">希 望 館</td> <td style="text-align: right;">22名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">レバノンホーム</td> <td style="text-align: right;">5名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">27名</td> </tr> </table> <p>※子ども達の調整がつかないため「子どもの家」は不参加</p>	希 望 館	22名	レバノンホーム	5名	計	27名		
希 望 館	22名									
レバノンホーム	5名									
計	27名									
24. 11. 11	宗教法人弁天宗	もちつき大会 3児童養護施設 青年会議所 子ども“わいわい”ネットワーク茨木 その他								
24. 12. 24	子供の家 希 望 館 レバノンホーム	①各施設へのクリスマス訪問 3施設 ②お年玉の配布 3施設 160名 ③高校卒業お祝い 2施設 5名								
25. 3. 20	夢 一 喜	児童養護施設中学卒業生お祝い会 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: right;">子 供 の 家</td> <td style="text-align: right;">2名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">希 望 館</td> <td style="text-align: right;">4名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">レバノンホーム</td> <td style="text-align: right;">3名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">計</td> <td style="text-align: right;">9名</td> </tr> </table>	子 供 の 家	2名	希 望 館	4名	レバノンホーム	3名	計	9名
子 供 の 家	2名									
希 望 館	4名									
レバノンホーム	3名									
計	9名									

※ 児童養護施設が、単独では実施困難な各種事業を社協が担っているということで、有意義な事業となっている。

また、「歳末たすけあい募金」を利用して、クリスマスプレゼントやお年玉、高校卒業のお祝い等を対象の子ども達に配分することができた。



## 5 広報活動について

### (1) 広報編集委員会 4回

年月日	場所	主な内容
24. 7. 9	社会福祉協議会会議室	広報紙「福祉茨木」第170号の編集会議
24.10. 2	社会福祉協議会会議室	広報紙「福祉茨木」第171号の編集会議
24.12. 3	ボランティアセンター会議室	広報紙「福祉茨木」第172号の編集会議
25. 3. 6	社会福祉協議会会議室	広報紙「福祉茨木」第173号の編集会議

### (2) 「福祉茨木」の発行 年4回全戸配布

号	発行年月日	主な内容	発行部数
第169号	24. 4. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第19回みんな集まれ!!ボランティアinいばらき」開催</li> <li>・平成24年度事業計画、予算・地区活動紹介(茨木地区、白川地区)</li> <li>・地区ごとの知恵のわプラン策定にむけて</li> <li>・各種相談事業紹介 ・善意銀行報告</li> </ul>	128,900部 8ページ
第170号	24. 8. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夏のボランティア体験プログラム</li> <li>・高齢者サポートボランティア、ボランティア入門講座</li> <li>・会長就任の挨拶 ・23年度事業報告、決算報告</li> <li>・平成24年度敬老会開催日程 ・地区活動紹介(石河地区)</li> <li>・「いきいき友の会」(脳卒中後遺症患者やその家族で構成した団体)参加者募集・地域福祉の推進にご協力をお願いします～赤い羽根共同募金～・社協パンフレットリニューアル・「地区知恵のわプラン」策定にむけて・ホームヘルパー、ガイドヘルパー各種研修案内・車いす、ベビーカーの貸出について</li> <li>・各種相談事業紹介 ・善意銀行報告</li> </ul>	129,100部 6ページ
第171号	24.11. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成24年度敬老会報告</li> <li>・夏のボランティア体験プログラムの報告</li> <li>・ボランティアセンターパンフレットの紹介</li> <li>・赤い羽根共同募金実施中「ボランティアの募集」</li> <li>・ボランティアグループ紹介(さくらグループ)</li> <li>・障がい福祉サービス(ガイドヘルパーの1日)の紹介</li> <li>・地区活動紹介(畑田地区、中条地区)・知恵のわプラン策定の第2弾スタート ・詩吟をしながら介護予防・研修会、コミュニティカレッジのお知らせ・各種相談事業紹介 ・善意銀行報告</li> </ul>	127,700部 6ページ
第172号	25.1. 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度賛助会員募集 ・社協会長新年挨拶</li> <li>・ホームヘルプサービスの紹介(ホームヘルパーの仕事)</li> <li>・地区活動紹介(山手台地区、西河原地区)</li> <li>・視覚障がい者手引きボランティア養成講座</li> <li>・知恵のわプラン策定にむけて</li> <li>・赤い羽根共同募金、歳末たすけあいへの協力のお礼</li> <li>・各種相談事業紹介 ・善意銀行報告</li> </ul>	128,200部 4ページ

※ 社協を“見せる”ことを意識した紙面づくりに務め、より社協を身近に感じてもらえるよう地域の方々の声も積極的に集め、『思わず見たくなる』ような広報紙づくりを意識して編集をしてきました。

また社協内においては、職員間での『広報紙検討委員会』を設置し広報紙に対する意識向上を図りながら、職員が一丸となって紙面作りに取り組めるように努めました。

6 生活福祉資金貸付事業について

(円)

貸付資金種類		相談 件数	貸付 件数	貸付総額
福 祉 資 金	生業費	2	0	0
	技能習得費	2	0	0
	住宅改修等費	0	0	0
	福祉用具費	0	0	0
	障がい者用自動車購入費	6	2	1,979,000
	中国残留国保追納費	0	0	0
	療養費	27	6	3,030,000
	介護サービス、障がい福祉サービス費	0	0	0
	災害援助資金	1	0	0
	冠婚葬祭費	3	0	0
	転宅費	30	2	799,000
	就職、技能支度費	0	0	0
	その他日常生活一時費	13	0	
	教育支援費（*1）	116	68	47,307,000
計	200	78	53,115,000	
総合支援資金（*2）		112	32	35,285,380
臨時特例つなぎ資金				
不動産担保型支援資金		4	1	12,180,000
小口生活資金		65	19	1,490,000
生活復興支援資金		0	0	0
合 計		381	130	102,070,380

\*1 教育支援費には就学支度費を含む

\*2 総合支援資金には生活支援費、住宅入居費、一時生活再建費を含む

※ 昨年度と比較すると、総合支援資金（延長申請を含む。）と教育支援費の貸付総額が大幅に増加している。

また、教育に関する相談件数は、この数年間で群を抜いて多かった。これは長引く不況による生計中心者の失業や減収で、子どもの教育費まで家計が回らなくなっている世帯、生計中心者が病気等で就労できず生活保護の受給を余儀なくされている世帯、両親の離婚による一人親世帯（圧倒的に母子世帯が多い）の相談が増加しているためと思われる。

## 7 相談事業について

### (1) 心配ごと相談所

相談員数	17名
相談日	週2回(火・木)
開設日数	102日
相談員活動延人数	195名
相談実件数	53件

#### <相談事項別取扱実績>

	相談事項別内訳	件数
I 生計	1 年金・生活	5
	2 財産・借金	2
	3 職業・生業	0
	4 その他	2
II 家族	1 夫婦問題	1
	2 結婚・離婚	1
	3 子育て・教育	0
	4 住居・近所づきあい	23
	5 その他	8
III 健康	1 医療・保健	1
	2 精神衛生	2
	3 その他	2
IV 福祉	1 地域	0
	2 高齢・障害・児童	2
	3 その他	0
V	人権・法律	1
VI	事件・事故	2
VII	その他	1
	計	53

※ 24年度より週2日の開設としたが、相談件数は前年度とほとんど同数であった。その中では、住居・近所づきあいの相談件数が半数近くを占めており、地域福祉の問題点が顕著に出ていると思われる。

## 8 善意銀行運営事業について

### (1) 金銭預託及び払出し状況

預 託 (円)			払 出 し (円)	
一 般 預 託	119件	796,441	ボランティア活動 育成援助費	1,242,160
			その他(車いす、ベビーカー修理等)	0
計	119件	796,441	計	1,242,160

### (2) 物品預託及び払出し状況

預 託		払 出 し
食 料 品	アイスクーキ 果実等	茨木学園、茨木療護園、とんぼ作業所、 わかあゆ、出藍荘、穂積園、どかどか、 ぽかぽか、ふかふか、あい・あい塾、あ ゆむ、ハーモニー、サンライズ、ゆうあ いさろんせせらぎ、マイウェイやごの 家、たゆたう、ゆず、セルフショップ希 楽、西河原コミュニティキャンパス、橋 の内コミュニティキャンパス、レバノン ホーム、希望館、子ども家、ワークき らり、さきはう、JSN茨木他 各施設等 へ払出し
車 椅 子	車椅子 4台	
そ の 他	杖、ベビーカー、チャイルドシート、カセッ トテープ、ポータブルトイレ、シャワーチェ ア、プルリング、ベルマーク、使用済み切手・ カード・インクカートリッジ、紙おむつ、タ オル、雑巾他 多数	

※ 金銭預託件数は昨年に比べて金額、件数とも減少したが、物品預託件数は増加した。  
物品預託件数の増加は、広報誌「福祉茨木」等による周知の拡がりに関係があるものと思われる。

## 9 ボランティアセンター運営事業について

### (1) ボランティア講座、体験プログラム

#### ①ボランティア体験プログラム（大阪府ボランティア市民活動センターとの共催）

年月日	場 所	内 容	参加 実数	参加 延数
24. 7. 1 ～ 8. 31	茨木市内 福祉施設等(31施設)	イベントの簡単な手伝い、行事の付き添い、 話し相手、保育補助 他	89名	107名

#### ②ボランティア入門講座（茨木市ボランティア連絡会と共催）

年月日	場 所	内 容	講 師	受 講 者 数
24. 8. 6	社会福祉協議会 会議室	・ボランティアについて ・車椅子での外出体験	社協事務局職員 茨木市ボランティア連絡会会員	7名
24. 8. 17 ～8. 31	茨木市内 福祉施設等	・ボランティア体験プロ グラムに参加	茨木市内施設等職員	7名
24. 9. 18	社会福祉協議会 会議室	・体験の振り返り ・ボランティアセンター について	社協事務局職員 茨木市ボランティア連絡会会員	7名

#### ③高齢者サポートボランティア講座（ボランティアグループ「あじさい」と共催）

年月日	場 所	内 容	講 師	受 講 者 数
24. 9. 12	社会福祉協議会 会議室	・ボランティアやってみま せんか!! ・車椅子の操作方法	社会福祉協議会 事務局職員	11名
24. 9. 20	社会福祉協議会 会議室	・高齢者のこころとからだ (認知症について) ・車いす外出体験	保健医療センター保健師 社協事務局職員	12名
24. 9. 24 24. 9. 25 24. 9. 26	天兆園 葦原デイサービ スセンター 聖和荘	・ボランティアの現場を体 験しよう!! (高齢者施設 にてボランティア体験)	各施設担当職員	12名
24. 9. 27	社会福祉協議会 会議室	・ボランティア現場 見学報告会 ・ボランティア活動紹介	社協事務局職員 ボランティアグループ 「あじさい」会員	12名

④視覚障がい者手引きボランティア養成講座（手引きグループ「クローバー」と共催）

年月日	場 所	内 容	講 師	受講者数
25. 2. 4	社会福祉協議会 会議室	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアについて</li> <li>・手引きの方法について</li> <li>・アイマスクを着用しての外出、食事体験</li> <li>・当事者の話を聴く</li> <li>・手引きグループ「クローバー」の紹介</li> </ul>	社会福祉協議会 事務局職員 手引きグループ 「クローバー」会員	29名

※ ボランティア講座については、共催する社協登録ボランティアグループの特性や自発性を活かした内容で4回開催。

そのような中で、24年度は新に「手引きボランティア養成講座」を計画したところ、定員を越す応募者があり盛況に終わった。

(2) 他団体・機関での講座・研修会等への講師派遣協力

年月日	場 所	内 容
24. 5. 8	障害福祉センター ハートフル	障害福祉センター講座「障害ってなに？」 「茨木市の社会資源① ～社会福祉協議会の役割等～」
24. 5. 18	茨木市立中央図書館	音訳ボランティア養成講座 「ボランティアの心得」
24. 6. 28	早稲田摂陵中学・ 高等学校	ボランティア体験説明会 「ボランティア体験プログラムにむけて」
24. 7. 6	追手門学院大学	追手門大学 経済学部 演習Ⅰ テーマ「ボランティアとは？」 「どのようなボランティア活動があるのか」 「ボランティアの心構え」
24. 7. 11	藍野大学	テーマ「ボランティアとは？」 「どのようなボランティア活動があるのか」 「ボランティアの心構え」

### (3) ボランティア活動状況

ボランティア登録者 1238名

(登録グループ65団体：グループ加入者1062名、個人登録者176名)

#### ①在宅での活動

	高齢者		障がい者		障がい児		乳幼児・児童		合計	
	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数
4月	13	14	6	6	24	24	0	0	43	44
5月	12	15	5	5	43	43	0	0	60	63
6月	8	8	7	7	51	51	0	0	66	66
7月	11	11	3	3	36	36	0	0	50	50
8月	8	8	4	4	19	19	0	0	31	31
9月	11	11	15	17	56	56	0	0	82	84
10月	12	12	3	3	59	59	0	0	74	74
11月	5	5	5	5	60	60	0	0	70	70
12月	4	4	5	5	52	52	0	0	61	61
1月	2	2	11	11	44	44	0	0	57	57
2月	3	3	8	8	54	54	0	0	65	65
3月	3	3	7	7	56	56	0	0	66	66
計	92	96	79	81	554	554	0	0	725	731
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院、通所等での介助</li> <li>・家事援助</li> <li>・話し相手</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院、通所等での介助</li> <li>・手引き</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通院、通所、通学等での介助</li> <li>・保育補助</li> <li>・遊び相手</li> </ul>					

②各種施設、関係機関、団体での活動

	高齢者施設		障がい者施設・団体		乳幼児・児童		その他		合計		演芸ボランティア	
	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数	活動延日数	活動延人数
4月	318	726	81	209	10	37	14	76	423	1,048	94	451
5月	287	666	97	226	8	30	6	18	398	940	85	370
6月	255	721	95	185	6	11	4	14	360	931	88	408
7月	280	757	76	162	2	5	4	14	362	938	104	462
8月	220	577	58	131	2	6	9	19	289	733	67	291
9月	310	821	95	200	6	19	12	55	423	1,095	114	475
10月	297	832	94	198	11	59	4	14	406	1,103	98	423
11月	323	731	83	182	5	29	9	20	420	962	92	379
12月	288	707	85	201	5	25	8	25	386	958	91	417
1月	275	570	80	199	4	26	8	18	367	813	65	276
2月	288	684	87	183	4	18	5	26	384	911	101	397
3月	249	632	76	162	4	12	4	14	333	820	84	367
計	3,390	8,424	1,007	2,238	67	277	87	313	4,551	11,252	1,083	4,716
主な活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションやクラブ活動の指導、補助、話し相手</li> <li>・各種行事での介助</li> <li>・施設内での移動補助等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業補助</li> <li>・外出時の介助</li> <li>・各種行事での補助</li> <li>・施設内での移動補助等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関主催の各種講座、研修会等での乳幼児保育補助</li> <li>・児童対象の手作りおもちゃ指導</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数団体主催イベント手伝い等</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・演芸披露</li> </ul>	

※ 昨年度に比べると全体的に在宅・施設共に活動人数は増えており、中でも高齢者関係は大幅に増加している。

③電話訪問ボランティア（活動者 37名 対象者 1,110名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動延件数	43	35	36	39	30	37	40	40	42	35	35	39	451
訪問延件数	1,626	1,619	1,443	1,426	1,429	1,460	1,427	1,495	1,450	1,501	1,306	1,294	17,476

※ 何回か電話をかけても通じない場合は、ボランティアセンターより担当民生委員に安否確認を依頼し状況把握に努めているが、入院等でお互いに情報を持たない場合の検索が今後も問題として残っている。（家族や介護支援専門員等との連携の強化）

担い手の養成と、民生委員や地域、併せて利用者の理解も深めながらより良い事業として進めていきます。



(4) ボランティア総合補償制度の加入取扱状況

保険の種類	社協加入分		窓口受付分	
	加入件数	加入者数	加入件数	加入者数
ボランティア活動保険	8	1, 293	172	1, 681
ボランティア行事保険	6	11, 465	397	26, 921
有償・非営利活動保険	0	0	17	237
移送中事故傷害保険	1	9	1	7
計	15	12, 767	587	28, 846

10 福祉車両移送サービス事業について（車いすでの乗降可能車）

(1) 利用登録者数 106名(平成25年3月末現在)

(2) 利用実績

月	新規登録	利用状況（車両台数2台）				走行距離 (km)	運転者 ボランティア (付添者含む)
		30分未満	30分以上 4時間未満	4時間以上 8時間未満	計		
4月	2	0	9	0	9	198	11
5月	0	0	10	1	11	510	12
6月	0	0	10	0	10	210	10
7月	0	0	13	0	13	263	13
8月	0	2	7	0	9	142	9
9月	2	0	8	0	8	234	11
10月	5	1	10	1	12	515	14
11月	0	1	9	0	10	281	10
12月	1	1	6	0	7	260	9
1月	0	0	6	0	6	198	6
2月	0	1	4	0	5	115	5
3月	3	1	3	0	4	73	4
計	13	7	95	2	104	2, 999	114

※ 利用希望は年々増えているのだが、運転ボランティア及び介添えボランティアの確保ができず、利用制限もすることとなった。

今後はあらゆる広報媒体の利用を検討しながら、運転及び介添ボランティアの担い手養成等を行い、需要に対応出来るような体制作りを行っていく。

## 1 1 福祉教育事業

年 月 日	場 所	内 容	備 考
24. 4. 19	福井高校	車いす・アイマクス体験	
24. 6. 14	太田中学校	車いす・アイマスク・シニア体験	福祉委員会協力あり
24. 10. 4	清溪小学校	車いす体験	福祉委員会協力あり
24. 10. 15	忍頂寺小学校	アイマクス体験	
24. 10. 19	沢池小学校	車いす・アイマクス体験	
24. 10. 25～26	安威小学校	車いす・アイマクス体験	
24. 10. 30	福井小学校	車いす・アイマスク・シニア体験	福祉委員会協力あり
24. 10. 31	天王小学校	車いす・シニア体験	
24. 11. 2	北稜中学校	車いす・アイマスク・シニア体験	
24. 11. 5	玉島小学校	車いす体験	福祉委員会協力あり
24. 11. 7	葦原小学校	車いす・アイマスク・シニア体験	
24. 11. 9	中条小学校	車いす・アイマクス体験	
24. 11. 12	東雲中学校	車いす・アイマスク・シニア体験	
24. 11. 13～14	平田中学校	車いす・アイマスク・シニア体験	
24. 11. 16	茨木小学校	車いす・アイマクス体験	
24. 11. 20	山手台小学校	車いす・アイマスク・シニア体験	
24. 11. 30～31	郡小学校	車いす体験	
25. 2. 7	東奈良小学校	車いす体験	

※ 学校側との事前打合せも定例化してきたため、当日の進行はスムーズに行えたが、今後は学校や地域、社協という関係性を重視しながら、子どもやその保護者をはじめとする地域住民の福祉力向上を目指した関わりを目指していく。

## 1 2 各種機器貸出事業について

### (1) 車椅子貸出延べ台数 (保有台数 83台)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
67	64	59	64	59	67	67	63	64	58	57	62	751

### (2) ベビーカー貸出延べ台数 (保有台数 103台)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
74	72	72	65	71	74	75	69	62	58	59	53	804

### (3) その他の機器 (福祉教育事業での利用実績を含む)

年月日	種 別	貸 出 先	備 考
24. 4. 3	高齢者疑似体験セット 2セット	アピスキューブ	体験学習
24. 4. 4	高齢者疑似体験セット 4セット	摂津いやし園	体験学習
24. 4. 19	アイマスク 40枚	福井高校	授業、体験学習
24. 5. 24	高齢者疑似体験セット 9セット	北摂つばさ高校	授業、体験学習
24. 6. 4	アイマスク 24枚	北摂つばさ高校	授業、体験学習
24. 6. 7	高齢者疑似体験セット 6セット	高槻ともしび苑	体験学習
24. 6. 14	高齢者疑似体験セット 19セット、アイマスク 40枚	太田中学校	授業、体験学習
24. 6. 25	高齢者疑似体験セット 9セット	北摂つばさ高校	授業、体験学習
24. 10. 15	アイマスク 20枚	忍頂寺小学校	授業、体験学習
24. 10. 18	アイマスク 40枚	沢池小学校	授業、体験学習
24. 10. 20	高齢者疑似体験セット 10セット、アイマスク 40枚	郡山地区福祉委員会	体験学習
24. 10. 22	高齢者疑似体験セット 9セット	北摂つばさ高校	授業、体験学習
24. 10. 24	アイマスク 40枚	安威小学校	授業、体験学習
24. 10. 29	高齢者疑似体験セット 7セット	福井小学校	授業、体験学習
24. 10. 30	高齢者疑似体験セット 8セット	天王小学校	授業、体験学習
24. 11. 1	高齢者疑似体験セット 6セット、アイマスク 15枚	北陵中学校	授業、体験学習
24. 11. 5	アイマスク 20枚	玉島小学校	授業、体験学習
24. 11. 5	高齢者疑似体験セット 12セット、アイマスク 20枚	葦原小学校	授業、体験学習
24. 11. 8	アイマスク 40枚	中条小学校	授業、体験学習
24. 11. 9	高齢者疑似体験セット 17セット、アイマスク 6枚	東雲中学校	授業、体験学習
24. 11. 12	高齢者疑似体験セット 17セット、アイマスク 40枚	平田中学校	授業、体験学習
24. 11. 15	アイマスク 40枚	茨木小学校	授業、体験学習
24. 11. 19	高齢者疑似体験セット 9セット、アイマスク 10枚	山手台小学校	授業、体験学習
24. 12. 13	高齢者疑似体験セット 6セット	高槻ともしび苑	体験学習
25. 1. 18	アイマスク 20枚	白川小学校	授業、体験学習

※ 貸出件数は、ベビーカーが昨年に比べて減少した。これは、少子化が影響していると共にベビーカーの老朽化も考えられるので、買い換えも行う必要がある。

### 1 3 老人介護家族の会育成事業について

#### (1) 会員数

- ①正会員                    6 4 名
- ②賛助会員                9 5 名
- ③特別賛助会員        3 3 団体

#### (2) 会議等

内 容	回 数	出席者数
総 会	1 回	3 5 名
家族の会つどい	9 回	延 2 3 9 名
リフレッシュ事業	1 回	4 0 名
介護電話相談	毎週火・木曜実施	延 1 6 0 名
いこいの広場	毎週火・木曜実施	延 1 6 0 名
役員会	1 1 回	延 1 0 0 名
会報発行	1 0 回	

※ 一人で介護に悩む方々が多数おり、介護者同士の情報交換や悩みを打ち明けられる場として、この「老人介護家族の会」の「支え合う」という活動はまだまだ重要で、必要性の大きさも顕著に見えていた。

今後とも各種関係機関との連携を進めるなど、社協としての後方支援に努めていく。

## 14 介護保険関係事業について

### (1) 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業

#### ①訪問介護

月	ケース数	回数
4月	41	523
5月	44	551
6月	45	597
7月	46	561
8月	45	546
9月	46	552
10月	47	594
11月	48	575
12月	40	533
1月	41	495
2月	38	465
3月	34	477
合計	515	6,469

#### ②予防訪問介護

月	ケース数	回数
4月	35	191
5月	37	220
6月	35	210
7月	36	193
8月	34	209
9月	33	189
10月	34	206
11月	34	208
12月	29	188
1月	29	180
2月	30	198
3月	29	202
合計	395	2,394

#### ③ヘルパー会議・研修等

ヘルパー会議 12回／各種外部研修会 0回／居宅サービス事業所部会 0回

### (2) 居宅介護支援事業

#### ①居宅介護支援事業（ケアプラン作成）実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護プラン	87	87	89	88	87	89	89	95	91	97	87	93	1,079
予防プラン	20	21	20	20	20	22	22	26	25	24	39	42	301

#### ②要介護認定訪問調査件数

##### 1) 茨木市要介護認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4	3	2	3	1	5	3	5	6	7	7	8	54

##### 2) 他市要介護認定調査件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

#### ③会議、研修会等

社協ケアマネ会議 12回／居宅介護支援事業所部会 3回

要介護認定調査員研修会 1回／地域包括支援センターとの交流会 1回

高齢介護課・包括との交流会 1回／包括主催研修会 3回

茨木市高齢者サービス事業所連絡会 3回／主任介護支援専門員研修 1名参加

介護支援専門員現認研修「専門課程Ⅰ」 2名参加／難病研修その他外部研修 3回

社協内部研修 4回

※ 訪問介護事業と居宅介護支援事業共に、「利用者本意」と「横の連携」を意識したサービスの提供を行うことができた。

## 15 地域包括支援センター運営事業について

※（ ）の数字は、北部地域圏域における数を示す。

### (1) 総合相談事業

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
来所 ／ 電話	関係機関	26 (2)	35 (5)	33 (4)	26 (0)	34 (2)	33 (1)	32 (5)	34 (5)	15 (0)	26 (1)	24 (1)	28 (0)	346 (26)
	住 民	37 (5)	34 (0)	34 (2)	28 (0)	31 (3)	52 (0)	44 (3)	36 (3)	27 (0)	23 (1)	39 (3)	41 (1)	426 (21)
	合 計	63 (7)	69 (5)	67 (6)	54 (0)	65 (5)	85 (1)	76 (8)	70 (8)	42 (0)	49 (2)	63 (4)	69 (1)	772 (47)

### (2) 権利擁護事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
成年後見	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	7 (0)
虐待対応	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	3 (0)	3 (2)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	8 (2)
消費者被害の防止	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)

\*虐待種類：身体的虐待5件、経済的虐待1件、心理的虐待6件、介護放棄1件、性的虐待0件

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業(介護支援専門員及び地域福祉事業への支援)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケアマネ 個別指導	5 (1)	10 (0)	9 (0)	2 (0)	6 (0)	1 (0)	7 (5)	4 (0)	4 (0)	3 (0)	3 (0)	3 (0)	57 (6)
関係機関 連携	20 (4)	20 (3)	19 (3)	24 (3)	14 (3)	28 (4)	16 (3)	26 (4)	21 (3)	14 (1)	34 (8)	34 (5)	270 (44)
相談件数	47 (8)	67 (14)	65 (15)	83 (12)	61 (16)	78 (17)	43 (6)	68 (12)	49 (14)	41 (14)	69 (13)	87 (23)	758 (164)

\*関係機関連携：独居高齢者給食会：4地区(中津、大池、中条、耳原)299名

ふれあいサロン：1地区(中津)72名

健康づくり：2地区(車作、いきいき友の会)256名

いきいき高齢者のつどい：1地区(茨木)56名

セーフティネット会議：6地区(中条、茨木、大池、中津、見山、清溪)

地域相談会

①茨木にぎわい亭相談会：25名(第2木曜 12回開催)

②民生委員児童委員協議会：6地区(大池、中津、中条、茨木、忍頂寺、清溪)

### (4) 介護予防ケアマネジメント事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
独自 プラン	164 (4)	170 (3)	165 (4)	169 (3)	161 (3)	168 (3)	162 (3)	164 (3)	160 (3)	157 (3)	135 (2)	138 (1)	1,913 (35)
委託 プラン	194 (30)	202 (33)	207 (32)	203 (34)	201 (36)	212 (36)	222 (35)	222 (36)	220 (39)	213 (37)	229 (39)	234 (38)	2,559 (425)

(5) 二次予防事業対象者関連事業 (茨木市が65歳以上を対象に行ったアンケート「健康寿命100」より)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
プラン作成数	24 (0)	7 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	54 (2)	0 (0)	0 (0)	5 (0)	0 (0)	0 (0)	90 (2)

(6) 研修会等の開催

①介護支援専門員対象研修

- ・ 新任介護支援専門員研修 出席者 40名
- ・ 中堅介護支援専門員研修 出席者 42名
- ・ 地域包括支援センター連絡会伝達研修 出席者 24名
- ・ 担当圏域内の居宅介護支援事業所との交流会 出席者 20名
- ・ 詩吟をしながら介護予防 (3回) 出席者 73名
- ・ 担当圏域内の居宅介護支援事業所への訪問 5か所

②地域包括支援センターの啓発等

- ・ 街かどデイハウス: 「とんとん」「ぼっぼ大池」 計 2か所
- ・ 老人クラブ: 茨木、中条、大池、中津、見山、清溪地区 計 6地区
- ・ 敬老会: 茨木、中条、大池、中津、忍頂寺地区 計 5地区
- ・ 消防署: 計 1か所
- ・ 医療機関: 計 9か所

(7) 地域包括支援センター会議への出席

- ・ 地域包括支援センター連絡会議 計 12回
- ・ 地域支援事業関係機関の担当者会議 計 12回
- ・ 地域包括支援センター運営会議 計 5回
- ・ 茨木市認知症高齢者地域支援連絡会 計 3回
- ・ 包括、在宅介護支援センター 計 9回
- ・ 地域ケア会議準備会議 計 3回
- ・ 居宅介護支援事業所部会 計 3回

(8) 専門職種別会議 (三職種) への出席

- ・ 医療職会議 計 12回
- ・ 社会福祉士会議 計 7回
- ・ 主任介護支援専門員会議等 計 2回

(9) 認知症対応共同生活介護事業所運営推進会議への出席

- ・ グループホームコティライフ茨木駅前 計 5回
- ・ グループホームコティ東彩都 計 5回

※ 関係機関とのネットワークづくりとなる「連携強化」に視点を置き、医療機関への啓発や居宅介護支援事業所への情報提供、相談対応を行った。

直接訪問する機会をつくる事で関係が図れ、次の支援に繋がる手応えもあり、改めて「顔の見える関係」の重要性を認識した。

## 16 高齢者虐待防止ネットワーク運営事業について

(1) 虐待相談件数 8件

### (2) 高齢者虐待防止ネットワーク連絡会会議

開催日 : 平成24年6月22日(金)

内容 : 平成23年度 高齢者虐待対応に関する事業報告

平成23年度 障がい者相談支援事業報告

平成24年度 事業計画について

「認知症について」学ぶ

講師 : 茨木市役所 保健師 竹下 綾子 氏

### (3) 研修会の開催

開催日 : 平成25年1月22日(火)

テーマ : 「ケアする人のケア」

講師 : 財団法人 たんぽぽの家 理事長 播磨 靖夫 氏

対象者 : 民生委員児童委員、障がい者相談支援事業所職員、  
地域包括支援センター職員

出席者 : 69名

### (4) 啓 発

①虐待啓発用チラシ3,000部(平成25年1月作成:A4×6頁三折)作成  
茨木市内関係機関に配布

②定期的な啓発(民生委員児童委員、地区福祉委員の会議等において、上記チラシ等を配布し啓発)

③虐待対応フロー図についての説明、周知

- ・茨木市高齢者虐待防止ネットワーク連絡会にて配布し説明
- ・虐待防止啓発用チラシにフロー図を掲載し、関係機関に配布し周知

### (5) 虐待ケースのモニタリング実施

茨木市内各地域包括支援センターの虐待対応ケースについて、市高齢介護課と共にモニタリング(7月、10月、1月:計3回)

※ 高齢者虐待は早期の気づきが重症化を阻止することに繋がることから、今後も虐待の早期発見を図るため、引き続き関係機関や地域住民に周知啓発に努める。



## 17 茨木市コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業について

### (1) 対象者別の集計

中条・茨木地区

中津・大池地区

高齢者	23	高齢者	48
（うち）1人暮らしの高齢者	14	（うち）1人暮らしの高齢者	39
（うち）高齢者のみの世帯	8	（うち）高齢者のみの世帯	1
障がい者	19	障がい者	26
（うち）身体障がい者	10	（うち）身体障がい者	7
（うち）知的障がい者	0	（うち）知的障がい者	2
（うち）精神障がい者	9	（うち）精神障がい者	18
児童	6	児童	2
子育て中の親	5	子育て中の親	14
（うち）ひとり親	3	（うち）ひとり親	3
青少年	1	青少年	2
DV被害者・被虐待者	0	DV被害者・被虐待者	2
ホームレス	0	ホームレス	0
外国人	0	外国人	0
その他	2	その他	34
合 計	56	合 計	128

### ※別表1：相談項目別の集計

#### (2) ケース検討会

- ①中条・茨木地区 7回
- ②中津・大池地区 4回

#### (3) 各種サービスの利用申請

- ①中条・茨木地区 2回
- ②中津・大池地区 1回

#### (4) 地域住民対象研修会

- ①中条・茨木地区 0回
- ②中津・大池地区 0回

別表 1 : 相談項目別の集計

中条・茨木地区

中津・大池地区

相談内容	件数	相談内容	件数
子育て・教育に関する事	8	子育て・教育に関する事	9
ひとり親家庭に関する事	1	ひとり親家庭に関する事	8
障がい者自立支援に関する事	4	障がい者自立支援に関する事	5
ひきこもり・不登校に関する事	1	ひきこもり・不登校に関する事	3
青少年に関する事	1	青少年に関する事	1
介護保険に関する事	5	介護保険に関する事	20
家族の身の回りの世話に関する事	5	家族の身の回りの世話に関する事	7
認知症に関する事	3	認知症に関する事	4
施設入所に関する事	3	施設入所に関する事	1
健康・医療に関する事	6	健康・医療に関する事	25
就労に関する事	1	就労に関する事	10
年金に関する事	0	年金に関する事	0
生活費に関する事	0	生活費に関する事	0
生活保護に関する事	0	生活保護に関する事	6
ローン・多重債務に関する事	0	ローン・多重債務に関する事	0
消費者問題に関する事	0	消費者問題に関する事	0
財産管理に関する事	0	財産管理に関する事	0
DV（ドメスティックバイオレンス） 虐待に関する事	0	DV（ドメスティックバイオレンス） 虐待に関する事	8
ホームレスに関する事	0	ホームレスに関する事	0
住宅に関する事	2	住宅に関する事	0
外国人に関する事	0	外国人に関する事	0
その他の福祉制度に関する事	3	その他の福祉制度に関する事	21
地域活動・ボランティアに関する事	2	地域活動・ボランティアに関する事	10
当事者組織に関する事	1	当事者組織に関する事	0
人権に関する事	0	人権に関する事	0
生活に関する身近な事	14	生活に関する身近な事	13
食に関する事	0	食に関する事	1
安否確認に関する事	2	安否確認に関する事	8
合計	62	合計	160

※ 担当CSWの変更もあり、地域からの相談が減少している。また、配食サービスアセスメントの窓口が、地域包括支援センターや居宅介護支援事業所に変更になり、食に関する相談も減少している。

また昨年と比べ、会議やサロンなどに積極的に出席していったことで、福祉委員や民生委員からの相談が増え、少しずつ地域との関係が構築できつつあったことを実感した。

## 18 障害者自立支援法における介護・支援・援護等各事業について

### (1) ホームヘルパー、ガイドヘルパー派遣実績

#### ①身体障害者

サービス		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
身体介護	利用者数	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	提供延回数	69回	51回	41回	72回	62回	66回	71回
家事援助	利用者数	4人	3人	3人	3人	3人	3人	3人
	提供延回数	82回	54回	45回	70回	61回	64回	66回
通院介助	利用者数	1人	2人	1人	1人	1人	1人	1人
	提供延回数	2回	3回	4回	2回	4回	2回	2回
重度訪問介護	利用者数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	提供延回数	78回	90回	86回	92回	83回	78回	82回
移動支援（身体介護伴う）	利用者数	5人	6人	5人	6人	5人	6人	5人
	提供延回数	42回	51回	50回	53回	49回	56回	54回
移動支援（身体介護伴わない）	利用者数	22人	20人	21人	23人	23人	23人	21人
	提供延回数	168回	163回	191回	194回	200回	196回	199回
同行援護（身体介護伴う）	利用者数	8人	9人	9人	10人	9人	9人	9人
	提供延回数	94回	92回	89回	109回	105回	105回	115回
同行援護（身体介護伴わない）	利用者数	14人	16人	14人	14人	15人	15人	16人
	提供延回数	197回	171回	169回	182回	161回	192回	183回

サービス		11月	12月	1月	2月	3月	合計
身体介護	利用者数	3人	3人	3人	3人	3人	37人
	提供延回数	72回	72回	70回	63回	79回	788回
家事援助	利用者数	3人	3人	3人	3人	3人	37人
	提供延回数	71回	61回	63回	56回	67回	760回
通院介助	利用者数	1人	1人	1人	1人	1人	13人
	提供延回数	4回	4回	2回	4回	4回	37回
重度訪問介護	利用者数	1人	1人	1人	1人	1人	12人
	提供延回数	90回	81回	77回	74回	118回	1,029回
移動支援（身体介護伴う）	利用者数	6人	5人	5人	5人	5人	64人
	提供延回数	45回	55回	38回	37回	49回	579回
移動支援（身体介護伴わない）	利用者数	20人	19人	19人	18人	20人	249人
	提供延回数	198回	170回	178回	171回	192回	2,220回
同行援護（身体介護伴う）	利用者数	9人	10人	9人	10人	9人	110人
	提供延回数	98回	130回	113回	114回	111回	1,275回
同行援護（身体介護伴わない）	利用者数	15人	17人	15人	17人	17人	185人
	提供延回数	161回	175回	157回	187回	176回	2,111回

## ②知的障害者

サービス		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
移動支援(身体介護伴わない)	利用者数	6人	8人	7人	8人	7人	7人	6人
	提供延回数	34回	35回	34回	37回	30回	33回	21回
移動支援(身体介護伴う)	利用者数	5人	5人	5人	5人	6人	4人	6人
	提供延回数	45回	52回	61回	53回	52回	39回	62回
身体介護	利用者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	提供延回数	0回	0回	0回	0回	0回	0回	0回
通院介護	利用者数	3人	2人	2人	1人	2人	2人	1人
	提供延回数	7回	5回	5回	3回	3回	5回	3回

サービス		11月	12月	1月	2月	3月	計
移動支援(身体介護伴わない)	利用者数	6人	6人	6人	6人	6人	79人
	提供延回数	26回	25回	25回	23回	23回	346回
移動支援(身体介護伴う)	利用者数	6人	5人	5人	6人	6人	64人
	提供延回数	41回	54回	52回	52回	52回	615回
身体介護	利用者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	提供延回数	0回	0回	0回	0回	0回	0回
通院介護	利用者数	1人	1人	2人	1人	2人	20人
	提供延回数	2回	3回	5回	3回	5回	49回

## (2) 研修会等

日程	場所	内容
24.5.28 / 5.29	社協会議室	ガイドヘルパー会議(事務連絡・グループワーク)
24.7.2 / 7.10	社協会議室	ガイドヘルパー会議(事務連絡・グループワーク)
24.9.4 / 9.10	社協会議室	ガイドヘルパー会議(事務連絡・グループワーク)
24.10.13 / 10.14	社協会議室	ガイドヘルパー現任者実技研修
24.10.29	社協会議室	接遇マナー研修
24.12.10 / 12.11	社協会議室	ガイドヘルパー会議(事務連絡・グループワーク)
25.1.29 / 2.4	社協会議室	ガイドヘルパー会議(事務連絡・グループワーク)
25.3.26 / 4.1	社協会議室	ガイドヘルパー会議(事務連絡・グループワーク)

※ 定期的に、登録ガイドヘルパーの研修を行った。ガイドヘルパー自身が抱えている問題を具体的に取り上げ、実践的なスキルアップを図る中で、ガイドヘルパー同士の情報共有の必要性も課題となり、次年度に向けての解決方法を検討した。

## 19 日常生活自立支援事業について

### (1) 相談、問い合わせ件数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
118	25	54	7	204

### (2) 契約締結件数、解約件数

	前年度末 契約件数 (A)	新 規 契約件数 (B)	解約件数 (C)	24年度末実施件数 (A+B-C)
認知症高齢者等	19	10	8	21
知的障がい者等	14	1	1	14
精神障がい者等	18	4	4	18
合 計	51	15	13	53

### (3) 契約前の訪問相談件数

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
45	11	24	0	80

### (4) 生活支援員活動件数

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
総件数	1,127	734	1,196	0	3,057
内生保	314	438	838	0	1,590

### (5) 会議、研修会等

日常生活自立支援事業担当者会議（大阪府社会福祉協議会） 3回

※ 待機件数及び待機月の減少に努めたが、生活支援員の交代等があり待機者が増加することとなった。

早急に支援の体制を整え、円滑な事業実施を進めていく。

## 20 共同募金事業について

- (1) 常任理事会 7月26日開催 場所：社会福祉協議会会議室
- (2) 理事会 8月8日開催 場所：社会福祉協議会会議室
- (3) 自治会長説明会 9月1日開催 場所：市役所 南館10階 大会議室
- (4) 街頭募金運動 10月6日開催

場所：JR茨木駅、阪急茨木市駅、阪急南茨木駅、イオン茨木店、

イオン新茨木店 計5カ所

### (5) 赤い羽根共同募金実績額種別内訳

	平成24年度実績額	平成23年度実績額	対前年度増減額
戸別募金	8,324,451	8,869,018	△544,567
学校募金	137,974	141,907	△3,933
職域募金	125,307	130,006	△4,699
街頭募金	142,187	118,765	23,422
法人募金	1,595,788	1,476,618	119,170
その他	81,102	92,000	△10,898
バッジ	255,000	255,000	0
計	10,661,809	11,083,314	△421,505

### (6) 歳末たすけあい運動募金実績額種別内訳

	平成24年度実績額	平成23年度実績額	対前年度増減額
戸別募金	7,241,698	7,391,346	△149,648
職域募金	145,091	151,325	△6,234
法人募金	448,018	464,233	△16,215
計	7,834,807	8,006,904	△172,097

※ 共同募金実績額は、「赤い羽根募金」「歳末募金」とともに減少し、ほぼ22年度実績と同額になった。

これは、主に戸別募金の減少によるものであるが、一時期の災害復興協力意識の減少が大きく影響しているものと思われる。

## 2.1 地域福祉活動計画の推進について

### (1) モデル地区の状況

#### ①新郡山地区

年月日	場 所	会 議 名	内 容
24. 6. 6	茨木郡山会館	ワークショップ	事業を創出してみよう
24. 10. 18	茨木郡山会館	策定懇談会	事業仕分け（事業を再評価）
24. 11. 21	茨木郡山会館	策定懇談会	事業仕分け（事業を再評価）
24. 12. 19	茨木郡山会館	策定懇談会	事業仕分け（事業を再評価）
25. 1. 19	茨木郡山会館	策定懇談会	事業の再編
25. 2. 19	茨木郡山会館	策定報告会	住民の方へ計画の方向性を報告

#### ②水尾地区

年月日	場 所	会 議 名	内 容
24. 4. 13	水尾コミセン	策定懇談会	地域課題の集約と意見交換
24. 6. 14	水尾コミセン	策定懇談会	水尾地区における拠点作りの進め方について
24. 9. 12	水尾コミセン	策定懇談会	水尾地区における拠点作りの進め方について

#### ぶらっとホーム水尾

年月日	場 所	内 容
24. 12. 15	水尾小学校	地域カフェ
25. 1. 19	水尾コミセン	地域カフェ
25. 2. 16	水尾コミセン	地域カフェ
25. 3. 16	水尾コミセン	地域カフェ

③西地区

年月日	場 所	会 議 名	内 容
24. 6. 7	西公民館	策定懇談会	策定懇談会委員との課題整理と次回住民懇談会の進め方検討
24. 11. 20	西公民館	策定懇談会	策定懇談会委員との課題整理と次回住民懇談会の進め方検討
25. 2. 23	西公民館	策定懇談会	策定懇談会委員との課題整理と次回住民懇談会の進め方検討

④沢池地区

年月日	場 所	会 議 名	内 容
24. 4. 26	沢池公民館	策定懇談会	地区福祉委員会役員との「地区知恵のわプラン」策定の説明と地域の問題抽出

(2) 事務局内各種会議

年月日	会 議 名	内 容	回 数
24. 4. 1～	事務局打合せ	①事務局職員内での進め方打合せ ②玉置先生を交えての打合せ	9回

※ モデル地区のうち水尾地区では、「地区知恵のわプラン」に基づいて地域の拠点づくりから手掛け、世代を越えた誰もがふれあえる喫茶形式の「ぶらっとホーム水尾」がスタートしました。

他のモデル地区でも今回の実績を踏まえて、「地区知恵のわプラン」策定とその取り組みを随時進めていきます。